

FUKUUCHI

Public Relations

No.202
October

広報ふくち



2022
10



特集

チカラ

生きる力。

体験と学びのその先へ

3年ぶりに開催された「夏季少年のバス」で、一生懸命、野外活動に取り組む子どもたち。自粛期間を経て、失われていたこのような光景も少しずつ取り戻されてきました。今月号は再び動き出した3つの事業から、子どもの成長につながる体験と学びについて考えます。

夏季少年のバス

青少年育成町民会議主催 / 夏季少年のバス / 宿泊体験学習

自然から学ぶ。

新型コロナウイルスの影響で失われていた体験の機会。この夏、ウィズコロナで事業を進める町の方針を受けて、自然学習「少年のバス」は再開に向けて一歩を踏み出しました。

**工夫と対策でたどりついた
3年ぶりの事業再開**

コロナ禍も3年目を迎えた今年、町はウィズコロナの方針を掲げ、止まっていた事業も少しずつ再開へと舵を切り始めました。青少年育成町民会議主催の夏の恒例行事「夏季少年のバス」もその一つです。子どもたちの失われている体験活動の場を提供したいとの思いから、半年前より検討を開始。参加人数の半減、県外開催を県内に変更、感染対策の徹底など、時代に合わせた開催方法を模索し、ついに3年ぶりの実施にたどりつきました。

**日常を離れて集団生活へ
自然体験が成長を育む**

募集の結果、今回は19人が研修に参加。天候にも恵まれ、2日間の研修は子どもの笑顔があふれていました。参加者は普段とは違う仲間たちと、沢登りや調理、キャンプファイヤーなど大自然を満喫。事業終了後、主催の二場研修部会長も「仲間との集団生活、自然の中でしかできない特別な体験は、子どもの将来に必ずいい影響があると思っています。久しぶりの光景に感無量でした」とほほを緩ませました。長い自粛期間を越えて実現した野外研修。自然の中で過ごした時間は、かけがえのないひと夏の思い出となりました。



表紙は流しそうめん台を作っていました!



●なんでも流しそうめん

野菜やちくわなど様々な食材を流す「なんでも流しそうめん」を参加者全員で準備。流し台まで手作りし、自分の手で完成した昼食は格別の味わいでした。



●城井川探検(沢登り)

安全に十分注意しながら、川遊びと沢登りを体験。岩が険しく難しい場所も仲間と協力して乗り越え、冷たい水の中を進み夏の魅力を満喫しました。



●火起こし体験

昔ながらの木をすり合わせるまい切り式で、火起こしを体験。なかなか点かない火に苦戦しながら、自分たちで考え、工夫する楽しさを感じることができました。

日程 **8/20[土]・21[日]**
1泊2日

参加者 **小学4年生～中学2年生**
(金田義務教育学校4年生～8年生)

場所 **牧の原キャンプ場**
(福岡県築上町)



●キャンプファイヤー

日頃見ることのできない大きな火に参加者も大興奮。焼いて食べるマッシュマも好評でした。最後は全員で火を囲み、一日の思い出を締めくくりました。



●海岸・神社散策

片付けを終えてキャンプ場を出発した後、近くの浜の宮海岸と綱敷天満宮へバスで移動。海岸での貝殻拾いや神社参拝を楽しみ無事に帰路につきました。



Schedule - スケジュール

Day 1
8:00- 福智町出発
10:30-12:00 昼食準備
12:00-13:30 流しそうめん
13:30-15:30 城井川探検
16:00-19:00 火起こし・夕食
19:00- キャンプファイヤー

Day 2
8:00- 起床・朝食
9:00-12:00 ハイキング
12:00- 昼食(弁当)
14:00-15:30 散策
17:00- 解散

代表で火の精にもなりました!

他の参加者は全員年下でまとめられるか不安でしたが、とてもいい経験になりました。普段と違うことをして、新しい仲間ができてとても新鮮。今後も色々な活動に参加してみたいと思いました。



金田義務8年生 1班班長 **伊藤 明希さん**



青少年育成町民会議 研修部会長 **二場 和雄**

まずは無事に研修を終えたことが何よりです。2年間の自粛といえども子どもにとっては今しかない貴重な時間。今回参加した子が、来年また成長してくれた姿を見せてくれる。そのためにもこの活動を守り続けたいと思います。



交流事業実行委員会主催 / 少年の翼 / 沖縄交流事業

絶やせない絆が紡ぐ
兄弟都市・中城村との交流

感じる 沖縄の風土を

福智町から南西90km、沖縄県・中城村。
20年以上の歴史を重ね、強い絆で結ばれた
両町村の交流もついに再開の時を迎えました。

福智町と兄弟都市協定を結ぶ中城村との交流開始は旧方城町時代の平成7年。これまで、児童の相互交流に始まり、文化やスポーツなど多方面でその関係を深めてきました。しかし開始から一度も絶えず続いてきたこの事業も、コロナ禍により2年間中止を余儀なくされました。今年度は実施に向けて両町村が密に連絡を取り、感染対策を徹底。厳しい感染状況の中、受入家庭と行政の協力を得て、実施へと結びつきました。

沖縄文化に触れる3日間
一期一会の出会いと体験

参加児童は4度の事前研修を経て沖縄県を訪問。沖縄独自の名所や平和史跡をめぐり、夜はホームステイで親交を深めるなど、異文化に触れる濃密な3日間を過ごしました。交流事業実行委員会の永末委員長は「大切なのは見て、聴いて、肌で感じることです。このつながりは福智町にとってかけがえない財産。必ず次世代につないでいきます」と事業の継続に力を込めました。来年一月には中城村が福智町を訪問予定。参加児童は福智町代表の自覚を胸に、再会の日を心待ちにしています。

スケジュール -Schedule

- 訪問**
- 6月29日(水) 結団式
 - 7月6日(水) 事前研修①
 - 7月13日(水) 事前研修②
 - 7月20日(水) 事前研修③
 - 7月27日(水) 事前研修④
 - 7月30日(土) ~ 8月1日(月) 沖縄訪問
- 受入**
- 12月14日(水) 事前研修⑤
 - (R5年)
 - 1月13日(金) ~ 15日(日) 福智町受入
 - 1月18日(水) 解団式

日程 **7/30** [土] ~ **8/1** [月]
2泊3日

参加者 小学校・義務教育学校5~6年生

場所

沖縄県 中城村

(研修は沖縄県全域)



5年生の時に沖縄交流に参加!

これまで何度も町の事業に参加して、多くのことを学びました。次は私がこの経験を今の子どもたちに伝えていきたいと思い実行委員をしています。今後は福智町と関わる仕事に就いて、恩返しします。



交流事業実行委員(大学生)
浦田 芽依さん



福智町沖縄交流事業団長
加来 寧々さん

沖縄県は、食事や話し方も風景も初めて出会うことばかりで、空港を出た瞬間から文化の違いを感じることができました。ホームステイ先も温かく迎えてくれて、すぐに仲良くなれました。1月にまた友達と会えるのが楽しみです。



平和学習

事前に研修したことを現地で視察学習。自分の目で見て、現地の声を聴くことで、命の大切さや今ある平和のありがたさを身をもって感じる事ができました。



ホームステイ(児童交流)

はじめは緊張していたホームステイでしたが、各家庭で温かいもてなしを受け打ち解けた児童たち。3日目のお別れの際には「また会おう」と再会を誓いました。



エメラルドビーチ

一番人気だった海水浴に、両町村の児童全員が大はしゃぎ。直前まで降っていた雨も止むなど天気も味方し、沖縄特有の透明度の高い美しい海を満喫しました。



中城城跡

村が誇る世界遺産・中城城跡を見学。観光ガイド「グスクの会」による解説とともに約1時間城内をめぐり、村の歴史と密接に関わる貴重な史跡について学びました。



中城村護佐丸歴史資料図書館

村の英雄・護佐丸から名づけられた図書館を訪問。中城城の石垣を模したパズルなど見て触れる資料展示もあり、楽しみながら村の文化や歴史について学習しました。



事前研修(全4回)

学校の枠を越えて集まった14人が、4回にわたり沖縄・福智町・平和・集団行動を学習し、千羽鶴2束も制作。町の代表として自覚を高め訪問の準備を進めました。

FUKUCHI Global Camp



世界のダンスを体験

フィリピン、ベトナム、ミャンマー、パレスチナ自治区、台湾、バングラデシュの6つの国・地域のダンスを留学生から教えてもらい、披露しました。



世界の祭りを体験

タイ総領事館やタイ国政府観光庁の方にタイの伝統的行事で、旧正月を祝い、年長者を敬う「ソンクラーン」などの文化を紹介してもらいました。



水かけ祭り開催!

タイのお祭り「ソンクラーン」から派生した互いに水をかけあう「水かけ祭り」を福智町で初開催!次はぜひ本場タイでも体験してみてください!



大学生との交流!

大分県別府市にある立命館アジア太平洋大学(APU)の留学生や福智町で地域活動を行うFIWC九州の大学生が来町し、交流を深めました。



立命館アジア太平洋大学 (APU) パレスチナ自治区 出身

Awad (アワッド) さん

Interview-インタビュー

パレスチナでは観光庁につとめていて、現在 APU で学んでいます。今回子どもたちと披露したダンスには「今日より明日はきっとよくなる」という前向きな意味が込められています。日本の地で祖国を紹介できてとてもうれしく思います。



赤池中3年 西田咲笑 さん 赤池中3年 早川怜那 さん



福智町の食材を使ったタイ料理を町調理員がアレンジ!



日程 **8/18** [木]

参加者 **小学3年生 ~ 中学3年生**
(金田義務教育学校3年生~9年生)

スケジュール -Schedule

- pick up
- 10:30-11:45 レクリエーション
- 11:45-13:00 タイランチ
- 13:00-14:00 留学生と交流
- 14:00-15:00 タイの文化体験
- 15:00-16:00 水かけ祭り (ソンクラーン)



伝統的なミニチュア仏像に水をかけ、異文化を体験! 体験が育む「生きる力」

タイは性別であいさつが違うなど、異国独特の文化に驚きました。世界の人と会えて、他国の文化を学ぶ貴重な体験になりました。(西田) 新しい言語を学び、価値観や習慣が当たり前では無いことに気づきました。(早川)

文科科学省が2020年度に発表した「青少年の体験活動に関する調査結果報告書」によると、小学生のこの体験活動が、高校生以降の自己肯定感の高さや外向性などを向上させることされています。体験活動は、子どもたちの「豊かな人間性」「自ら学び、自ら考える力」など、学びに向かう、生きるために大切な力を育む基盤や成長の糧となります。学校以外の体験をいかに作っていくか、体験と学びの機会を提供できる事業を町全体でサポートしていきます。

福智から世界へ扉を拓く

Think global, Act local
Be a dreamer.



教育委員会主催 / ふくちグローバルキャンプ / 国際教育事業

コロナ禍で減少している、国際交流の機会。7つの国・地域の留学生やタイ王国総領事館など多方面の協力を得て、福智町にいながら異国を体験できる新事業が実現しました。

異なるものを受け入れる心を養い、未来をつなぐ
コロナ禍であっても世界を身近に感じてほしい、将来の選択肢を広げてほしいという思いから、福智町にいながら異文化に触れることのできるふくちグローバルキャンプを初開催。世界の「祭り」「食」をテーマに異文化体験学習を地域交流センターで実施し、小学3年生から中学3年生の36人が参加しました。世界各国のダンスの体験や、町調理員がアレンジしたタイ料理の「食」の体験、タイのお祭りや伝統工芸にふれるワークショップ、水かけ祭りの開催など特別なプログラムとなりました。